

みなさん、神戸市外国語大学へようこそ！

副学長を務めさせていただきます田村です。どうぞよろしく願いいたします。

皆さんには、日本に 700 以上ある大学のなかから、この神戸市外国語大学を、これからの大事な 4 年間で過ごす場所として選んでいただきました。

今、皆さんは、この 4 年間で、どんなことをやってみたいと考えていますか？

まずは、大学といえば、サークル活動！ これを真っ先に思い浮かべる人がいるでしょう。本学には、運動系、文化系からボランティア系まで、合わせて 60 以上のサークル、学生団体があります。その他にも、学園祭や語劇祭の実行委員会などもあります。コロナ禍の状況でも、各団体は、工夫して活動を盛り上げています。きっと皆さんの関心や興味に合うものが見つかると思いますよ。

また、大学生になったら、アルバイトをやってみたいと思っている人もいるかもしれませんね。

サークルやアルバイトは、それを上手に活用すれば、友人関係や社会との関わりのなかで、皆さんの視野を広げてくれるとても良い機会になると思います。

一方で、忘れてならないのは、大学生の本分は、第一に「学ぶこと」にあるということです。自分の学びたいことを好きなだけ学ぶ、それは、皆さん大学生の大切な務めです。

そして、皆さんの学びたいという気持ちに応え、皆さん 1 人ひとりの知的成長をサポートする場、それが大学です。

大学では、高校までとは大きく異なり、たくさんの授業科目の中から、自分自身で、履修したい授業を選択します。自分の学びたいことは何か、そしてそれをどのように学ぶのか、これらを自分自身で考え、履修プランを練るわけです。この後のオリエンテーションでは、そのやり方について説明がありますが、履修プランを組む作業は、「大学での主体的な学び」のための第一歩です。ですので、しっかりきいてください。

また、本学のメリットの 1 つに、学科間の垣根が大変低いということが挙げられます。ある授業に出席したら、隣の人が別の学科の人だったということもしばしばです。そうした人たちと一緒に、共通の学習テーマに協同して取り組む、といったことも決して珍しくはありません。

自分と異なる考えや視点をもつ人たちから刺激を受け、お互いに切磋琢磨する、そうした経験を通じて、「大学での学び」の面白さ、そして奥深さを、ぜひともたくさん味わって下さい。

それからもう一つ。

多くの皆さんにとって、本学で過ごす4年間は、人生においては、ちょうど「青年期」という時期にあたります。私は、心理学を専門としていますが、「青年期」は、「自分とは何者か」という問いに、真正面から挑む、はじめての、そして唯一の時期と言われています。

自分は何をしたいのか、自分には何が出来るのか、そして、どんな友人とつきあい、また、どんな職業に就くべきなのか……。大学生活の中では、こうした問いに何度も突き当たることでしょう。

それらの答えは、一朝一夕に見つかるというわけではありません。さまざまな経験を積み重ねながら、必死に答えを追い求めようとする、その絶え間ない努力の中ではじめて、少しずつ、答えらしきものが見えてくる、そんなものだと思います。

その過程では、うまくいかないことや自信を失ったりすることもあるでしょう。迷ったり悩んだり、悪戦苦闘したりすることもきっとあります。しかし、そうした経験の一つ一つは、必ずや、今後の人生のための大切な糧になってくれることと思います。

本学は、海外40以上の大学と交流協定を結んでいます。また、留学生や地元市民の方々との交流プロジェクトもあります。コロナ禍という状況ですが、それへの対応の過程で、私たちは、今や電子会議システムを使いこなし、海外や遠隔地の人々との交流も、以前よりずっと簡単にできるようになりました。

皆さんには、こうした機会を利用して、失敗を恐れず、ぜひ、いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。

皆さんが、本学で、本当に学びたいことに出会い、そして、「なりたい自分」を見つけ、実現していけるよう、教職員一丸となって、皆さんをサポートして参りたいと思っています。

楽しい、充実した4年間を目指して、今日から一緒にスタートしましょう。